

## 城南家保ニュースR6 11月号

熊本県城南家畜保健衛生所 〒868-0042 人吉市蟹作町 1237-1

TEL : 0966-22-3814 E-mail : jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp



宵の球磨川

### 高病原性鳥インフルエンザ特別防疫対策期間です！！

熊本県では11月1日から翌4月30日迄の期間を「高病原性鳥インフルエンザ特別防疫対策期間」と定め、高病原性鳥インフルエンザウイルスの侵入防止および万一の発生時のまん延防止対策を強化しています。

今シーズン、家きんではすでに1例目が10月17日に北海道で確認されて以降、2例目が10月23日に千葉県で、3例目が10月27日に新潟県で、4例目が10月31日に島根県で確認されています。1例目の確認日は過去のシーズンと比較して最も早く、その後の確認数、確認地域を考慮すると、すでに本病ウイルスが広く国内に浸潤していることが危惧されます。

それを裏付けるかのように、環境省の調査では既に5道県、9例の野鳥で高病原性鳥インフルエンザウイルスの感染が確認されています（10月31日現在）。

家きん飼養農家におかれましては、あらためて飼養衛生管理基準遵守を徹底・強化するとともに本病を疑う症状等が確認された場合は、直ちに家畜保健衛生所へご連絡いただきますようお願いいたします。

### ●鶏肉・鶏卵の安全性について

高病原性鳥インフルエンザが国内で確認されると鶏肉や鶏卵の安全性に不安を抱かれる方がおられるかもしれませんが、国産鶏卵は通常卵選別包装施設で洗浄・消毒されており、国産鶏肉は食鳥処理場で生体検査が実施されています。高病原性鳥インフルエンザ発生農場で飼養されているウイルスの汚染の可能性のある鶏や卵はすべて処分されますので、市場に出回ることはありません。  
安心して鶏肉・鶏卵を消費ください！

## 薬剤耐性（AMR）対策推進月間です！！

11月は薬剤耐性（AMR）対策推進月間です。

抗生物質や合成抗菌剤の抗菌性物質は、人や動物の健康を守るうえで極めて重要な製剤ですが、適正に使用しないと、抗菌性物質が効かない細菌（薬剤耐性菌）が増加し、人の医療や獣医療における健康への悪影響を及ぼすリスク要因となります。

畜産業における基本的なAMR対策を以下に示しますので、取り組みをお願いします。

### ●獣医師における対策

#### ・抗菌性物質の慎重使用

診療の結果、抗菌性物質を使用の是非を十分検討し、必要があると判断した場合、薬剤の有効性、投与方法、体内動態、使用禁止期間・休薬期間、抗菌スペクトル等を総合的に考慮して、最大限の効果を上げ、薬剤耐性菌の出現を最小限に抑えるよう使用する。

### ●生産者における対策

飼養衛生管理水準を向上させ、家畜の健康状態を良好に維持することで、抗菌性物質製剤の使用を抑えることができます。

- ・飼養衛生管理基準の遵守
- ・適切なワクチン接種による疾病予防
- ・飼養環境（畜舎内の高・低温、高・低湿度、換気不良等）の改善
- ・適切な飼料給与及び衛生管理
- ・日頃から家畜の観察を十分に行い、健康状態を把握するとともに、異状が確認された場合には、重症化しないように速やかに診察を受ける。

## 近隣諸国における海外悪性伝染病発生状況

病名	型	発生地（国）	畜種	発生年月日
口蹄疫（FMD）	不明	中国	牛	令和6年10年22日
アフリカ豚熱（ASF）		韓国	豚	令和6年10月13日
高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）	H5N1	韓国	採卵鶏 あひる	令和6年10月29日

令和6年(2024年)10月31日現在

### 家畜防疫員のヒトコト

急に冷え込んできたと感じていたら、やはり高病原性鳥インフルエンザが日本に入ってきました。とうとうこの時期になりました。夕やけを写す川を見ながら、無意識に野鳥を探している自分がいます。(S・H)